

【図解でわかる「解答を書く」と「解答を伝える」の違い】

「解答を書く」と「解答を伝える」の違いについて次頁に図解で説明しました^{注1)}。

『解答を書く』と『解答を伝える』の違いとは、「『試験官の存在を認識しないで解答を書く』と『試験官の存在を認識して解答を書く』の違い」です。

記述式試験とは、受験生が書いた論文（解答）を試験官が読んでその内容を評価する試験です。つまり、記述式試験では、試験官の存在を認識して解答を書く必要があります。そのため、「解答を書く」ではなく「解答を伝える」という意識を持つ必要があります。さらに、「解答を“明確に”伝える」という意識を持つ必要があります。「伝える」と“明確に”伝えるとは違うからです。

試験問題の解答を書く場合には、「試験官に解答を“明確に”伝える」という意識を持つべきです。

注1)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の『解答を書く』と『解答を伝える』の違いについての資料を参照のこと

以 上

